



2017年2月9日～10日 10:00～18:00

バチカン図書館情報学々校

Via della Conciliazione 1, Roma

2月9日(木)

日本近世文書のくずし字解読を学ぶ

バチカン図書館所蔵マレガ収集文書を通じて

2月10日(金)

バチカン図書館所蔵マレガ収集文書群の伝来と構造

主催 人間文化研究機構、バチカン図書館

共催 東京大学史料編纂所、大分県教育委員会
AISTUGIA、イタリア東方学研究所

後援 ローマ日本文化会館、在バチカン日本大使館
ローマ大学、ヴェネツィア大学、ナポリ東洋大学

使用言語 日本語（一部英語版資料あり）

募集定員 20名

日本近世文書のくずし字解読を学ぶ

バチカン図書館所蔵マレガ収集文書を通じて

「日本古文書とくずし字解読」

太田尚宏（人間文化研究機構国文学研究資料館）

くずし字解読実践1

「切支丹末裔の出生・婚姻・離縁と文書システム」

宮間純（人間文化研究機構国文学研究資料館）

くずし字解読実践2

「切支丹末裔の死去と文書システム」

平井義人（日出町歴史資料館・帆足万里記念館）

バチカン図書館所蔵マレガ収集文書群の伝来と構造

「マレガ文書群の構造と目録記述について」

大友一雄（人間文化研究機構国文学研究資料館）

第1部：文書群の出所に関する研究

「マレガ氏の経歴と文書収集について」

シルヴィオ・ヴィータ（京都外国語大学）

「臼杵藩宗門方と宗門改について」

三野行徳（人間文化研究機構国文学研究資料館）

第2部：文書群の伝来・管理・利用に関する研究

「臼杵藩の文書群管理と端裏書・収納袋」

太田尚宏（人間文化研究機構国文学研究資料館）

「『豊後切支丹史料集』（正統）編纂と文書管理」

松井洋子（東京大学史料編纂所）

「キリシタン摘発史料—いわゆる「豊後崩れ」を中心として」

松澤克行（東京大学史料編纂所）

第3部：目録記述の実際

「目録記述の実践報告」

佐藤晃洋（大分県教育委員会）・藤田淳一郎（大分県教育委員会）

宮間純一（人間文化研究機構国文学研究資料館）

・工藤航平（東京都公文書館）

第4部：目録記述から歴史研究へ

「寛永12年切支丹改起請文と禁制システムの成立」

大津祐司（大分県教育委員会）